

評価基準表

審査項目		評価の着目点
①	事業者概要	業務を安定してできる基本的な環境が整備されているか。
②	業務実績	過去5年間に於いて、同種計画(商工業関連の計画策定)・類似計画(他の総合計画や個別計画策定)の業務実績など、今回の業務を請け負うに足る豊富な受託実績があるか。
③	実施体制	業務を実施するにあたり、携わる人数や経験など十分な実施体制となっているか。 主任技術者(従事者含む)の専任性、経験年数、資格等を総合的に判断し、本業務の確実な実行が見込めるか。
④	コミュニケーションに対する考え方	業務を円滑に進めるための考え方や手法、頻度は適切であるか。
⑤	本業務内容全般に対する提案者の考え方	仕様書に示した事業目的、計画改定の要点を正しく理解しているか。 本市を取り巻く環境の変化や課題を把握し、将来のビジョンや商業振興のあり方について明確な考えを持っているか。
⑥	基礎調査・分析	仕様書の内容を踏まえ、国、県、民間事業者データを幅広く活用し、多角的な視点で現状分析や課題などについて調査・分析がなされる提案となっているか。
⑦	アンケート調査・分析	仕様書の内容を踏まえ、提案されたアンケート案や実施方法等は適切であり、今後の商業振興につながる要点を見出すことができる提案となっているか。
⑧	商業振興の基本的な考え方と方向性の検討	仕様書の内容を踏まえ、基礎調査やアンケート調査の結果から課題を抽出し改善に向けた方向性や施策などの検討について、具体的な方策が示されているか。
⑨	大和市商業戦略計画の作成と取りまとめ	仕様書の内容を踏まえ、計画の作成方法や手順、体制等が適切であるとともに、専門的な知見を十分に発揮して行う方策が示されているか。
⑩	策定委員会及びパブリックコメント等の支援	仕様書の内容を踏まえ、策定委員会や意見交換会、パブリックコメント等の実施について具体的な方策が示され十分な支援体制が取れる提案となっているか。
⑪	創意工夫の提案	業務全般において、仕様書以上に有益な提案(より良い結果のための代替案等)をしているか。 業務全般において、独自性があり、新たな視点や工夫が示されているか。
⑫	スケジュール	業務の実現性が確保されたスケジュールとなっているか。 各業務ごとの開始時期や完了時期など、現実的で無理のないスケジュールであるか。
⑬	プレゼンテーション	企画提案書やプレゼンテーションが分かりやすく、質問に対する回答も適切であるか。 業務への意欲や熱意が感じられるか。
⑭	留意事項	情報資産、個人情報の取扱いに対する考え方・体制がしっかりと確立されているか。
⑮	見積額	費用積算根拠(詳細な明細含む)が示され、見積額が内容に見合ったものであるか。